

2. 「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」

(1) シラバス

《単位互換提供科目詳細》

		* 科目 No.	
1. 開設大学名	広島大学		
2. 科目名	正式科目名	命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習	
	副題		
	旧科目名		
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	学問分野	番号	33 名 農学
	学問分野	番号	33 名 農学
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	集中
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ② 「基礎知識を必要としない科目」		
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011 年 9 月 6 日 (火) ~ 2011 年 9 月 9 日 (金) 3 泊 4 日 火~金曜日 9/6 13 時 30 分集合 広島大学西条共同研修センター宿泊		
8. 単位互換定員	30 人程度	9. 定員超過時の選考方法	書類選考
10. 科目内容・ 授業計画	<p>本学キャンパスには生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター西条ステーション(農場)があり、そこでは太陽の恵みを受けた大地で作物を作り、それらを飼料として家畜を繁殖、成長させてミルクや肉、羊毛を生産しています。また、畜産物や水産物を加工する食品製造実験実習棟と、動植物の精密実験圃場を有しています。命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習では、多くの教員及び農場技術職員の協力により、これらの施設を有効に活用して、草と家畜と土の循環のなかで乳や肉を生産し、さらに食品に加工していく過程を、講義、実習及び討論を通じて学ぶことで、他の生き物の命によって生かされている人間の存在について考えます。</p> <p>9/6 (火) 集合・ガイダンス・農場の見学と説明(農場)、家畜のエサやりと乳搾り体験① 9/7 (水) 午前 1 : 家畜のエサやりと乳搾り体験②、午前 2 : 作物(牛のエサ)の秘密を探る 午後 1 : 家畜の体の仕組みを見る、午後 2 : 家畜のエサやりと乳搾り体験③ 9/8 (木) 午前 1 : 家畜のエサやりと乳搾り体験④、午前 2 : ニワトリの肉を加工する 午後 1 : 搾った牛乳からヨーグルトを作る、午後 2 : 家畜のエサやりと乳搾り体験⑤ 夕食後交流会(西条研修センター) 9/9 (金) 午前 1 : 牛乳が食卓に上るまでの旅、午前 2 : 体験発表会・昼食後解散</p>		
11. 試験・評価方法	受講態度 60 点、発表 20 点、レポート 20 点で評価します。		
12. 別途負担費用	授業期間中の食事費等(9,000 円以内)を現地で徴収します。集合場所までの旅費は自己負担です。開催 1 週間前以降のキャンセルについては食事代を、1 日前および実施期間中のキャンセルについては参加費用全額(9,000 円以内)を支払っていただきます。		
13. その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 集合日時: 9 月 6 日の 13 時に JR 西条駅前に集合(昼食を済ませておいてください。)バスで大学まで送迎します。 ● 傷害保険: 事前に学生教育研究災害傷害保険(財団法人日本国際教育支援協会)相当の傷害保険に加入しておいてください。 ● 持参物: 医療保険証、作業着(つなぎ及び長靴は大学で用意します)、日よけ用の帽子、デジタルカメラ(あれば望ましい)、水に濡れたり汚れても構わない靴、エプロン(白衣でも可)、実習用タオル、筆記用具、宿泊に必要な身の回り品(洗面具、タオル、着替えを含む)等 ● やむなく欠席する場合は、開催 1 週間前までに広島大学生物生産学部学生支援グループまで申し出てください。直前にやむなく欠席・遅刻する場合も、必ず連絡してください。 ● 本授業科目は、広島大学生物生産学部、広島大学他学部、他大学の非農学系学部の学生のために開講されるものです。 <p>【問合せ・連絡先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島大学生物生産学部学生支援グループ 〒739-8528 東広島市鏡山 1-4-4 TEL: 082-424-7915 E-mail: sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp ・ 広島大学大学院生物圏科学研究科 教授 谷田 創 〒739-8528 東広島市鏡山 2-2965 TEL: 082-424-7994 E-mail: htanida@hiroshima-u.ac.jp 		